

高齢者見守り機 活用拡大

日新電機子会社の日新システムズ(京都市)が開発した高齢者向け見守り機器の活用が広がっている。2020年に豪雨被害



カードをかざしてボタンを押しだけの簡単操作で扱える

日新システムズ開発

豪雨被災 熊本の村で導入

に見舞われた熊本県球磨村などが、今夏から導入した。簡単な操作で高齢者が体調変化を外部に知らせることができるためだ。

機器名は「エルワン・ネット」。

高齢者が体調が悪い場合などに「相談カード」を読み取り部に置きボタンを押すと携帯電話の通信網を通じ外部に通知が届く。

多くの住民が仮設住宅で暮らす球磨村は7月から、エルワン・ネットを使った地域見守りサービスを始めた。住民の困りごとに対応する。気温が高くなる日に「熱中症に気をつけましょう」などのメッセージも送れる。